

忘れていませんか？ 市税の「納期限内納付」



市税は、私たちが安心して健康な暮らしをするために、重要な役割を持っています。福祉や保険といった社会保障、ごみ処理、教育、道路整備など、さまざまな事業を進める上で、非常に大切な財源です。

市税を滞納することは、納期限内に納付している大多数の市民との公平性を欠き、公共サービスを提供するための財源を圧迫することになります。

市は、納税相談の実施やさまざまな納付方法の導入など、皆さまの生活事情に合わせて納期限内納付ができるような環境づくりに取り組んでいます。



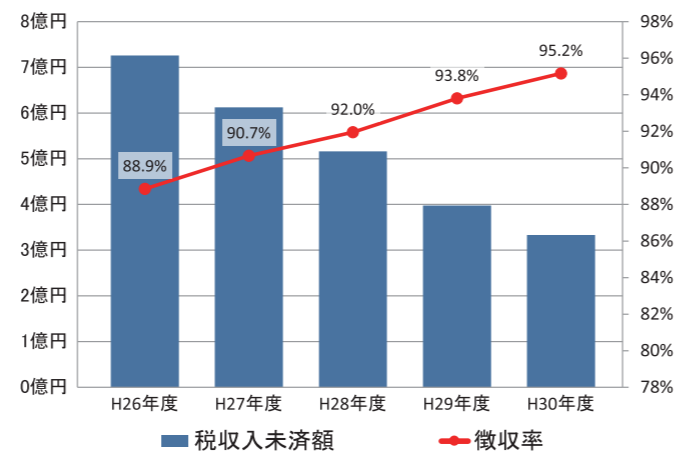
問 収納課 ☎43-8274 FAX 44-9411

下妻市の市税納付状況

市税(国保税を含む)の徴収率は上昇傾向で、昨年度は95.2%でした。税収入未済額は約3億3千万円です(右グラフ参照)。

滞納となった市税の徴収には費用がかかります。その費用は皆さまが納めた市税が使われているため、税負担の不公平感が生まれます。

税負担の公平性を確保し、より充実した公共サービスを提供するために、滞納の解消に向けた取り組みを進めています。



「滞納」ではなく「相談」を

税負担は公平が原則ですので、市税が滞納となった場合には段階を踏んだ厳しい対応を実施しています。まず、督促状や催告書を送付して納付をお願いしますが、それでも納付がなければ滞納者の財産を調査して差押えを行います。差押え後も納付がない場合は、差押えた財産を換価し、滞納税に充てます。

しかし、市としては、このような状況に至らないように納税相談を実施し、生活状況などを把握した上で完納に向けた納付計画の提案などをしています。「納付が難しい」

「今後の納税が不安」など、やむを得ない理由で納期限内納付が困難な方は、ご連絡の上、来庁してください。

納税相談



と き 【納税相談窓口】
平日の8時30分～17時15分
【夜間納税相談窓口】
毎月第1・3木曜日の
17時15分～19時
【休日納税相談窓口】
毎月最終日曜日の
8時30分～17時
と ころ 市役所本庁舎 1階 収納課

有料広告欄

防火・防災を誓い「令和2年下妻市消防出初式」実施



分列行進で入場する消防団員



一日点検官を委嘱された大野さん(左)と鈴木さん(右)



消防活動の功労者を称える表彰式

新春恒例の「下妻市消防出初式」が1月12日、市役所本庁舎南側駐車場など3会場で行われ、住民の生命と財産を守る消防活動に決意を新たにしました。

午前8時半から市役所本庁舎南側駐車場で行われた点検では、地元選出の国会議員などを来賓に迎え、消防職員や消防団員など約500人が参加しました。一日点検官として委嘱された豊加美小学校4年生の鈴木悠真さんと大野瑠奈さんは、菊池市長とともに消防団員の規律のとれた服装、姿勢、土気、機械器具などを点検しました。

市民文化会館で行われた式典では、県知事表彰をはじめ、優良分団や永年勤続功労者に対する表彰および伝達が行われました。

菊池市長は「平時の訓練などを通じ、消防・防災に関する知識や技術を更に磨き、消防団と常備消防である下妻消防署が連携して、火災や各種災害から市民の安全・安心確保という、負託に応えるべく、活躍されることを期待しています」とあいさつ。式典後にはアトラクションとして下妻中学校吹奏楽部がさわやかな演奏で色を添えていました。

下妻駅前通りに移動して行われた消防関係車両27台によるパレードでは、菊池市長と一日点検官が車両の観閲を行いました。



駅前通りでの消防車両パレード

東京マラソン財団と包括連携協定締結



協定を締結した同財団伊藤静夫理事長(左)と菊池市長

1月28日、市は、東京マラソン財団との「包括連携協定」を締結しました。同財団は、東京マラソンの企画運営など各種イベントやサービスを提供しています。

同財団と市は、少子高齢化・人口減少を迎える地方都市の新しい在り方について追及し、スポーツを通じた地域創生のロールモデル(模範)構築と知識蓄積に寄与することを目的に協定を締結。協定は、砂沼をはじめとする市の豊かな環境を活用して、スポーツ・文化、教育、健康などで「ランニング×地方創生」の実現に向けた事業を実施する内容です。同協定を地方自治体と締結するのは、全国で初めてとなります。